

2026

PICU Awareness Week in Japan

第6回のメインテーマは

伝える、伝わる

本テーマには、
医療現場で「伝える」ことの難しさと、
「伝わる」ことを確かめる難しさが込められている。

その先にあるのは、チーム・施設・地域を越えて限られた経験を共有し、
次世代の若手・多職種に届け、診療の質を高めることである。

5月11日（月）～15日（金） 18:00-19:00

参加無料

方法：ZOOM webinar



zoom URL : <https://us06web.zoom.us/j/83115565813>



小児の重症医療に関わる、あらゆる立場の皆さまへ
PICUを知らない方も、これから知りたい方も、ぜひご参加ください

(5日間共通)

曜日ごとテーマ（詳細は裏面）

- | | |
|---------|-------------|
| 5/11（月） | キャリアプラン |
| 5/12（火） | 重症例の振り返り |
| 5/13（水） | チーム内での連携 |
| 5/14（木） | 搬送における情報共有 |
| 5/15（金） | 重症例や家族との関わり |

今年の主幹は
九州・沖縄です！



2026

PICU Awareness Week in Japan

メインテーマは **伝える、伝わる**

5/11 (Mon)

PICU国内留学で学んだことを、地域へどう伝えるか
— PICUがない地域だからこそ育てられる小児集中治療と人材 —

PICU研修の学びを、地域にどう伝えるか。PICUがない環境で小児集中治療を発展させてきた実践と、都市部PICUからの視点を通じて、地方から広がる小児集中治療の未来を考える1時間です。

企画者：種岡飛翔（長崎大学病院） 登壇職種：医師

5/12 (Tue)

小児重症症例から学びを最大化する

重症例が少ない小児救急において、1例からの学びを最大化するために、振り返りの方法と“伝える・伝わる”連携の工夫を掘り下げていきます。当日は実際の症例を提示します。ぜひご参加ください。

企画者：入佐浩史（宮崎大学医学部附属病院）、大平智子（県立宮崎病院） 登壇職種：医師、看護師

5/13 (Wed)

チーム内での“伝える・伝わる”を考える

重症小児患者のマネジメントを行う上で、チーム内連携は不可欠です。PICUがある施設・ない施設、(P)ICU・病棟、医師・看護師など、多角的な視点から、チーム内での“伝える・伝わる”について考えます。

企画者：玉井資（大分大学病院）、五嶋恵佑（熊本赤十字病院） 登壇職種：医師、看護師

5/14 (Thu)

転院搬送における「伝える」と「伝わる」
— 搬送元が本当に伝えたいこと、搬送先が本当に知りたいこと —

施設間搬送には多くの危険が伴います。重症患者の搬送にあたり、搬送前の状況を十分に把握できていますか？搬送先と適切に情報共有できていますか？搬送中に起こりうる危機的な状態に備えることはできていますか？搬送元と搬送先、それぞれの視点から、「何を伝え、何を知りたいのか」を症例ベースで議論します。

企画者：熊本崇（佐賀大学病院） 登壇職種：医師、看護師、臨床工学技士

5/15 (Fri)

重症小児と家族に向き合う
— PICUにおける多職種の間わりを考える —

重症小児と家族に向き合う——PICUにおける多職種の間わりを考えます。実例をもとに、家族対応の難しさや葛藤を共有し、多職種それぞれの視点から支援の方法と間わり方を考えます。明日からの臨床を見つめ直す機会にさせていただければ幸いです。

企画者：系数大吾（沖縄南部医療センター） 登壇職種：医師、看護師、臨床心理士、メディエーター